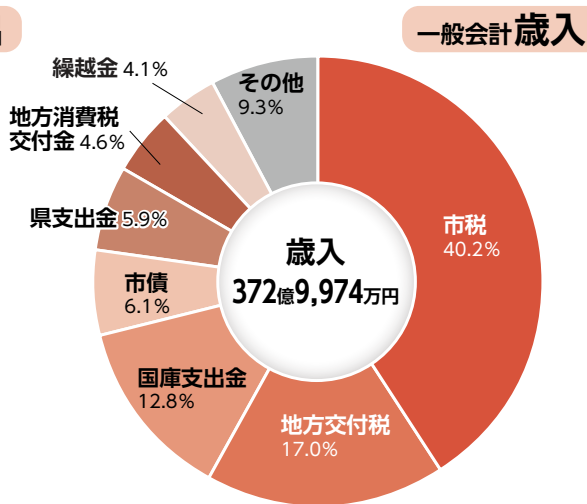
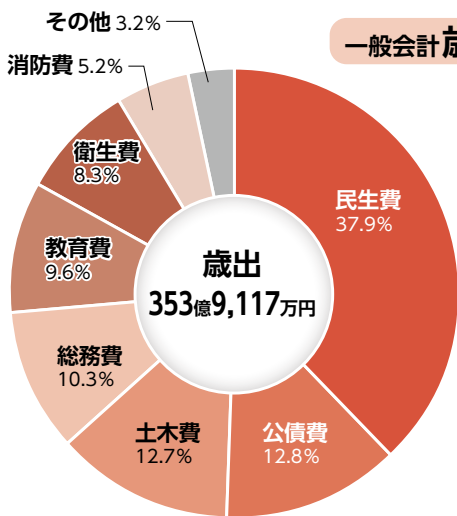


認定

歳出 353億9,117万円



一般会計決算目的別歳出内訳表

区分	使 用 道	金額 (千円)	総額に対する割合 (%)	前年度比 (%)	住民一人当たり額 (円)
議 会 費	議会運営等	303,825	0.9	1.2	2,554
総 務 費	庁舎や職員の管理費、財政、徴税、選挙等	3,653,774	10.3	△27.0	30,711
民 生 費	福祉、高齢者福祉、国民年金、子育て等	13,404,398	37.9	1.2	112,667
衛 生 費	健康増進、ごみ処理、環境衛生等	2,951,140	8.3	6.4	24,805
労 働 費	雇用促進、勤労者支援等	84,482	0.2	1.6	710
農林水産業費	農業、土地改良等	373,215	1.1	11.6	3,137
商 工 費	商工業、観光振興等	364,555	1.0	△7.7	3,064
土 木 費	道路、公園、区画整理事業等	4,493,779	12.7	11.8	37,771
消 防 費	火災、風水害等	1,825,861	5.2	1.0	15,347
教 育 費	学校教育、社会教育、スポーツ振興等	3,409,504	9.6	△6.4	28,657
公 債 費	市債などの返済金	4,526,643	12.8	6.1	38,047
合 計		35,391,176	100.0	△1.3	297,470

9月定例会は、9月4日から9月26日までの23日間の会期で開催されました。今定例会では初日に、「平成30年度鴻巣市一般会計補正予算(第2号)」「平成29年度鴻巣市一般会計決算認定について」など22議案が上程され、いずれも原案のとおり同意・可決・認定しました。また、議員提出議案として1議案が上程され、否決となりました。請願2件は、いずれも不採択となりました。

平成29年度 決算を

一般会計 歳入 372億9,974万円

政策と主な事業

金額(千円)

①安全・安心に暮らせるまちづくり

鴻巣行田北本環境資源組合負担金	170,378
コミュニティバス運営事業	112,449
災害支援体制整備事業	19,091
環境基本計画改定事業	4,719
エコチェンジポイント鴻巣事業	72

④住みたい・住んでよかったと思える快適なまちづくり

鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業	880,758
三谷橋大間線(2期工事)整備事業	67,217
駅施設等維持管理事業	46,030
市道A-1004号線整備事業(橋梁の架けかえ等)	32,363
コウノトリの里づくり事業	4,322

②いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり

保育所費庶務事業	253,285
健康ウォーキングポイント事業	29,961
こうのとりのり助成金事業	7,426
子育て世代包括支援センター事業	2,135
婚活支援事業	746

⑤賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり

工業活性化事業	76,313
鴻巣・行田地区経営体育成基盤整備事業	20,228
こうのす花まつり開催事業	13,322
道の駅整備事業(基本計画策定業務等)	2,818
労働支援事業	1,944

③子どもから大人まで、生涯にわたる学びと文化が根付くまちづくり

中学校給食運営事業	310,708
図書館管理運営事業	249,411
中学校施設改修事業	130,507
小学校施設改修事業	46,415
地域人材活用事業(学力向上支援員の配置等)	12,237

⑥市民協働による、一人一人が主役のまちづくり

コンビニ交付システム構築事業	50,687
ふるさと納税促進事業	18,831
集会所建設等補助事業	11,420
シティプロモーション推進事業	75
公共施設等マネジメント事業	37

(単位：%)

指標の名称	平成29年度			平成28年度
	早期健全化基準	鴻巣の比率	県内市町村平均比率	鴻巣の比率
実質赤字比率(一般会計などの赤字の大きさ)	12.13	—	—	—
連結実質赤字比率(市全体の赤字の大きさ)	17.13	—	—	—
実質公債費比率(借入金などのその年の返済額の大きさ)	25.0	4.1	4.7	3.7
将来負担比率(借入金の残高など今後支払わなければならない負債の大きさ)	350.0	15.9	19.9	20.4

財政健全化判断比率

平成29年度決算に基づく財政健全化判断比率は、早期健全化基準以内であり、引き続き財政の適正運営が行われました。

※赤字でない場合「—」で表示

決算 選挙啓発事業

問 若い時期から行政や政治に関心を持ってもらうための、今後の対策は。

答 投票率を年代別で見ると、18歳、19歳は高めですが、20代になると下がりが、30代、40代、50代と段々上がっていく傾向があります。主権者教育という効果も含めて高校生による選挙啓発、街頭啓発をはじめ、選挙立会人や事務従事者への参加を促すなど、今後とも若い世代への啓発もしていきたいと考えています。

決算 鴻巣市ファミリー・サポート・センター事業

○鴻巣市ファミリー・サポート・センター事業とは

仕事をしている親に代わって保育所までの送迎や、学校の放課後、親の急病・急用のときに、子どもを預かります。

基本料金 7000円（1時間）
担当課 子ども未来課

問 平成29年度の登録者及び、援助内容は。

答 依頼会員は572人、提供会員は108人、両方の会員になっている人は11人です。主な援助内容は保育所・幼稚園の送りが541件、保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預か

り450件、子どもの習い事等の援助が454件で、合計2666件の利用でした。

決算 本庁舎維持管理事業

問 監視カメラを収税対策室に設置した目的は。

答 トラブルへの抑止効果と、何か案件が起きたときに、後から検証するための記録が設置の目的です。

決算 契約管理費庶務事業

問 入札で取り入れている総合評価方式の具体的な基準は。

答 学識経験者から意見を聞きながら、県に準拠したガイドラインを作成しています。基準の中には、企業の技術能力として、過去2年度間の工事成績やISOの取得状況、また、企業の社会的貢献度として、過去2年度間におけるボランティア活動や除雪契約実績、市からの要望による災害防止活動の有無などの項目があります。

決算 ふるさと納税促進事業

問 ふるさと納税の基金への振り分け額は。

答 子ども教育ゆめ基金に1574万円、地域医療体制整備基金に324

万3000円、コウノトリの里づくり基金に429万5000円、ひなちゃん子育て応援基金に226万9000円、環境にやさしいまちづくり基金に203万8000円、市民活動支援基金に41万5000円、市長にお任せが1550万2000円で、各基金に振り分けました。

決算 婚活支援事業

問 平成29年度の実績は。

答 カップルの誕生数は24組となり、うち1組が30年度になって結婚したという報告を受けています。

決算 防犯灯管理事業

問 防犯灯設置工事の内訳及びLED化による電気料の削減額は。

答 鴻巣地域に167基、吹上地域に163基、川里地域に8基設置しました。電気料については、平成27年度は4366万円、29年度は2957万円となり、大幅に削減されています。

決算 上尾道路建設促進期成同盟会活動

問 平成29年度の状況と今後の展望は。

答 主に用地費相当として12億7000万円が確保されました。30年度

は、20億円の予算措置がされています。国の予算の増額は、国土交通省としても事業進捗の目途が立っているからこそ、ふえてきていると認識しています。本市も国の事業を支援していく中で、地元地権者への対応、用地買収に当たっての協力をしていきたいと考えています。この際の上尾道路建設促進期成同盟会等を通じて、地元の声を国に届けることが非常に重要です。本市が中心となりつつ、引き続き、関係市、議員連盟と連携し、要望活動をしつかりしていきたいと考えています。

決算 友好姉妹都市事業

問 友好都市協定は、何のためにどこと締結するかの視点が必要では。

答 他市の友好都市の状況を踏まえながら、メリットとデメリットも含め、今後とも精査します。

決算 消費者相談事業

問 消費者相談件数及び、相談内容は。

答 相談件数は465件です。相談内容については、はがきによる架空請求、有料サイトを利用しているという不当な請求、フリーローンやサラ金、キャッシングなどの借金返済、多重債務、住宅リフォームの契約不

ラブルなどです。

決算 地域人材活用事業

問 学力向上支援員とは、また、その成果は。

答 元校長、元中学校の数学教員、また指導経験が豊富な元教員を教育委員会が直接推薦し、任用します。対象は小学校3・4年生の算数の学習支援、学校長の要請に応じて教員に対する指導・助言を行います。成果については、アンケート調査によると、算数がかかるようになって好きになった、もっと勉強したい、という意識の高まりが見られました。また、平成30年度の県の学力・学習状況調査で、小学校の算数において伸びが見られました。

決算 駅施設等維持管理事業の鳥害対策

問 ムフドリに対する対策として、平成29年度は一定の効果が出ていると聞いているが、現在の状況は。

答 タカによる威嚇が成功し、ケヤキに飛来しなくなりました。30年度は7月から7回実施しましたが、効果が低くなり、その後、陸上競技用のスターターによる音の威嚇を試したところ、飛来しなくなりました。現

状では最善の対応策であると考えています。

決算 公園整備奉仕活動団体への助成事業

問 公園整備奉仕活動団体への助成事業により公園の除草を実施しているが、高齢者にとつて公園の除草作業は負担が大きくなってきた。その対策として、例えば、ヒメイワダレソウは繁殖力も強く、雑草の生育を抑制する効果が期待できるものである。公園に植えることによって除草の労力が軽減していくことも策の一つではないかと思うが、どう考えるか。

答 東東第一公園に植えた実績があり、確かに効果があります。奉仕活動団体と相談をしながら導入が可能かどうか検討していきたいと考えます。

決算 コウノトリの里づくり事業

問 平成29年度の具体的な事業内容は。

答 コウノトリの親子見学会、市役所本庁舎前にあるコウノトリのモニメントの設置、コウノトリの飼育に向けた建設候補地の選定に係る基礎調査、学校給食におけるこのとり伝説米の活用、3歳児健診時のこのとり伝説米のプレゼントなど

が主な事業となります。

問 コウノトリの里づくり基金の積立総額は。また、今後の方向性は。

答 29年度末の基金残額は、9470万7361円になります。今後は、30年、31年度で域外保全実施計画の策定及び、31年度に飼育施設建設設計業務委託の基本設計と実施設計を予定しています。

決算 未来議会開催事業

問 議会開催後の具体的な活用は。

答 開催後の活用については、学校の生徒会で情報を共有し、生徒会の運営に生かしています。学校だよりや学校のホームページ等で紹介しています。今年度は、始業式に質問書を全校生徒の前で、未来議会の議員が読み上げた学校もあります。今後も学校内での活用、他の生徒や保護者への周知を図ってもらうとともに、教育委員会、学校と連携し、一人でも多くの生徒に議会のこと、市政のこと、ふるさと鴻巣のことを理解してもらえよう、この事業の充実を図っていききたいと考えています。

決算 道の駅基本計画策定

問 目的・目標はどのようなものか。

答 道の駅は、地域の活性化、産業の

振興を図るための地域振興機能として、農産物直売所や特産品販売等を受け、本市の産業を広く市内外に発信するという目的があります。また、県央広域事務組合本部が近いことから、災害時に防災活動の場となるような道の駅を目指しています。

決算 花に関わる事業費の削減

問 平成28年度と比較すると、このす花まつり開催事業が約300万円の減、花のオアシス推進事業も約50万円の減、花かおりPR推進事業も約700万円の減となっている。それぞれ減額となった理由は。

答 このす花まつり開催事業では、せせらぎ公園の会場がなくなり、その警備費用等が大幅に減額しています。花のオアシス推進事業では、サルビアに代わり、安価なひまわりを種から栽培することで50万円の減額となりましたが、見応えのある花壇にすることができました。花かおりPR推進事業では、費用対効果を考え、神明交差点の花壇等の用地を園に返還するとともに、川里地域の種苗センター近くの多目的広場の花壇は委託を廃止したことなどにより減額しました。また、駅前の花壇や市

役所前の花壇の植え込みの見直しを行い、見劣りのしない花壇を保ちながら、経費の縮減に努めています。

問 一度、予算減額されると減額されたままになってしまふ恐れがある。事業の充実を図るために増額するなどの考えはあるか。

答 30年度のこのす花まつり開催事業では、馬室会場のポピー畑において土日に来場者からの協力をいただきました。一般会計だけに頼らず、自主財源を確保し、内容を充実させていきたいと考えています。

条例の一部改正 家庭的保育事業等の基準緩和

問 現在、条例の対象となる施設はないが、今後の見直しは。

答 食事の提供については、自園調理または、関連法人が運営する事業所との連携が確保されていることから、条例の対象となる施設はないと考えます。代替保育の連携については、連携施設に小規模保育所も加わることから、条例の対象施設となる可能性があります。

条例の改正 中学校の武道場の開放

問 中学校武道場の使用料は何を基準に設定したのか。

答 総合体育館及びコスモアリーナふきあげの利用料金の1時間500円を踏まえ設定しました。

問 中学校の部活動と重なる場合はどう対応するのか。

答 授業や部活動が優先されます。重なった場合は、利用団体に連絡し、調整します。

問 部活動優先となると利用時間が限られてくると思うが。

答 学校教育上の体育の授業や部活動での武道をする施設として整備されているため、平日は19時以降、土日は18時以降と考え、武道に属する団体に開放します。

条例の一部改正 上谷総合公園サッカー場利用料金の改定

問 サッカー場の人工芝を張りかえ実施する経緯は。

答 サッカー場において、施工から10年以上経過し、人工芝のクッション性の低下や芝の毛足も倒れてきていることから、総合的張りかえが必要と判断し、実施することになりました。

問 改定料金の積算根拠は。

答 改定に当たっては、原価計算方式

利用可能中学校	料金 (1時間)
鴻巣中学校	全面 300円 半面 150円
鴻巣北中学校	
鴻巣西中学校	
鴻巣南中学校 鴻巣見台中学校	

を採用しました。その方式で算定すると、サッカー場全体(フルピッチ)を使用する場合で、1時間につき3251円になりますが、激変緩和措置として3000円と算出しました。

問 現行の人工芝と、新たに施工する人工芝のグレードは。

答 人工芝の規格は、国際サッカー連盟が定めているものを施工するよう仕様書に盛り込み、入札を実施しています。

問 今年度中に張りかえをするが、10年後にも経年劣化等を想定して張りかえを行う計画であるのか。

答 人工芝の耐用年数は10年程度と聞いています。今回、人工芝の張りかえに合わせて、充填材として新しいゴムチップを入れて、クッション性等も向上するわけですが、併せて、定期的に人工芝のかき起こし等のメンテナンスを行い、長寿命化を図りたいと考えています。

条例の一部改正 鴻巣市税条例等の一部の改正

問 個人市民税の影響は。

答 個人市民税については、障害者等に対する非課税措置における前年の合計所得金額を10万円引き上げ135万円以下とする他、均等割及び

所得割の非課税限度額にそれぞれ10万円を加算する等の改正を行います。基礎控除の見直しにより、合計所得金額が2400万円を超えると控除額は徐々に減少し、2500万円を超えると控除がなくなります。法人市民税については、国税と同様に資本金1億円を超える法人等に対して電子申告を義務付けます。

問 たばこ税を段階的に増税することだが、どのくらいの増収が見込まれるのか。

答 平成29年度の売上本数で換算すると、年間4400万円の増加が見込まれます。

補正予算 災害支援体制整備事業

問 危機管理型水位計の設置場所及び仕組みと、その活用は。

答 設置場所は、元荒川沿いの新宿橋、水鳥橋、渋井橋、中斉橋、四郎兵衛橋、野通川付近の上郷橋、1号排水路の富士見橋の7カ所を考えています。橋の欄干に設置する超音波式の危機管理型水位計は、水に向けて超音波を発して、そのはね返りから距離を測定し、そのデータをシステムを通じて、国土交通省の危機管理型水位計運用協議会のサーバーに転送します。インターネット上の画

面で、川の水位の上昇などの情報を市民や職員も見ることができません。今まで、職員が現地調査を行っていましたが、直接現地に行かなくても、川の状態を判断することができ、市民への避難誘導など迅速な対応が可能となります。

補正予算 保育ステーション設置 事業

○保育ステーションとは
鴻巣駅周辺に設置し、そこで幼児を預かり、ステーションから保育施設へ送迎するための施設。

問 この事業を行うに至った理由は。

答 勤務地が遠方のため、保育時間内に送迎が困難な保護者や、兄弟姉妹が別々の保育所に入所している保護者もいることから、保護者の負担軽減として必要と考えたからです。

問 事業者の基準と対象は。

答 認可外保育施設指導監督基準に基づいて実施し、幼児保育経験のある事業所が行ないます。

問 車の台数、職員の配置は。

答 車の台数は2台です。1台に運転手、保育士2人、その他ステーションの職員の配置を考えています。

問 利用時間と送迎場所は。

答 午前7時から午後7時までの予定で、送迎先の施設については、今後

検討していきます。

補正予算 小中学校施設改修事業

問 北小学校、鴻巣北中学校、鴻巣中学校のブロック塀やプール囲み塀の改修が予定されているが、その他の学校施設の安全性は。

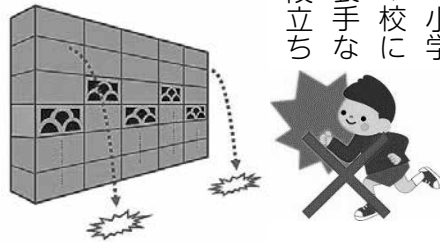
答 3校以外では、小学

校6校、中学校1校において、学校の裏手など児童生徒が普段立ち入らない場所や

プールのシャワー

室の壁などに危険箇所がありました。

今後、設置状況を調べて改修等を検討していきます。



補正予算 交通安全施設整備事業

問 東小学校、広田小学校、南小学校、赤見台第一小学校、下忍小学校の5校の安全のための路面標示の書き直しをするとのことだが、市内には小学校が19校ある。全校点検をしたのか。

答 全校に依頼をして、要領書ももらいました。その中で、特に規模の大きなものを補正予算に計上しました。なお、残りの14校の要望箇所については当初予算で対応する予定です。

補正予算 デマンド交通実証運行 補助金

問 6月15日から7月末の利用状況を踏まえて、当初予算で不足している部分を補正予算に計上したとのことだが、当初想定した利用件数よりも相当に多かったと考える。今定例会以降にも補正をする可能性はあるのか。

答 当初、他市の事例を参考に月当たり約1600件の利用を見込んで

いました。7月の実績等で算出すると、今後、2400件程度に達する可能性があることから、1件当たりの

補助金額を算出し、補正予算を計上しました。現在も利用登録者が増加していることから、今定例会以降に補正予算を計上する可能性はあります。

補正予算 大間近隣公園整備事業

問 オープンまでのスケジュールは。

答 今年度は補正予算の議決後に測量業務委託と基本設計業務委託を発注します。平成31年度は、補助金の交付を受けるための認可図書の作成や実施設計を行う予定です。32年度から3年ぐらいをかけて工事を行い、35年度に供用開始をする予定です。

請願

議請第2号 こうのす花火大会での自衛隊航空ショーの中止を求める請願書（不採決）

議請第3号 「こうのす花火大会」における自衛隊航空ショー中止を市がこうのす花火大会実行委員会に要請することを求める請願書（不採決）

賛成討論

花火大会において、戦争等を想起させる航空ショーは、再考するべきです。花火大会は、今までも成功させており、わざわざ自衛隊機を飛ばす必要はありません。この危険だと思われる航空ショーを止めることが、住民の命と暮らしを守ることにつながると考え、賛成します。

反対討論

自衛隊は自然災害が起った場合、いち早く現地に駆け付け、被災地の救助・復旧の活動にあたり、国民の命や生活を守っています。主催者である鴻巣市商工会青年部、こうのす花火大会実行委員会が議論を重ね、様々な観点から自衛隊機の展示飛行を決定したことです。主催者の見解を尊重すべきと考え、反対します。